

エコカーテン ア・ラ・カルト

原発事故での節電。さらに昨年以上の猛暑！各地でエコカーテンが作られています。原稿だのみではなく自然エネルギーへの転換が求められます。



厚木市立病院玄関前の朝顔です。



市役所本庁舎南側にはゴーヤには実がなっています。



秦野市内で見かけました。2階の屋根まで朝顔がびっしり。昨年、このお宅の方が熱中症になったので今年挑戦。野菜用の深いプランターを使用、一日3回も水やりをします。

防災セミナーに参加

東日本大震災発生後、厚木市では被災地に職員を派遣し災害対応に従事してきました。市の防災を担当している協働安全部防災対策課では、これらの活動や避難所の状況を知らせ、今後の防災計画の見直しに反映させるために、8月1日から28日まで各地で防災セミナーを開催しています。

議員団も、セミナーに参加しました。



厚木市地域防災計画の概要。中には避難所などの防災マップが。

もの。被災地登米市から送られた映像です。

トラックまで津波が押し寄せ、波がフロントガラスに叩きつけられる恐怖。高台で撮影したのは避難をしている人です。自分の家が流され、下を走る車や人が津波に呑みこまれていくのに何もできず、ただただ悲鳴をああげるだけ。

被災地へ派遣された職員の報告は、食事やお風呂など、当たり前の日常が、当たり前でないこと、プライバシーも守れないなど。「一週間で私が何ができただろうと悩んだ時期もあった」と。

その後、厚木市の防災計画についてパワーポイントで説明。東日本大震災を踏まえて地域防災計画の見直しを進めています。

地震の被害想定、避難場所・一時避難場所と指定避難場所について、防災備蓄品、情報伝達災害時の応援協定（市内各種団体や企業との協力協定）、自主防災隊、防災訓練などについて、30分余りにわたって説明。

その後、意見を聞きました。◎避難所に行くのに、川があったり、遠すぎたりする。変更はできないか。

◎防災無線が聞き取りにくい。間延びし過ぎていないか。

◎防災備蓄品の管理は、などいろいろな質問も出されました。

市では、地域防災計画の見直しを平成23年7月から24年3月までの間、市民への防災セミナーやアンケート、議会からの提言、市役所内の震災対策プロジェクト20などの意見を集約します。防災計画検討委員会、委託コンサルタントなどの議論を経て計画を修正していきます。これには国や県の方向性も加味していくものです。

今後の防災セミナー（最後）は8月28日（金）19時半から厚木南公民館集会所。また希望する団体には、出張で防災セミナーを行います。

連絡先：防災対策課
TEL (225) 2190